

「子育てはとても楽しい。ただ、たいへん」という感じにしている方は多いのではないだろうか。確かに子ども中心の生活は、大人の思うようにならないことが多い。子どもにも振り回され、自分の時間が持てない毎日が続き、身も心も疲れて当然。これでは、子育てを楽しむ余裕もなく

なってしまう。ひとりで子育てに奮闘していたり、仕事との両立に悩んだりしていればなおのことです。楽しいこと、うれしいことの方がずっと多いはずの子育て。家庭や職場、地域社会のサポートで、子育ての「たいへん」を「安心」に変えることが求められています。

「くまもと子どもプラン21」は次の五本の柱のもとに、例示の施策をはじめ、七十二の施策に取り組むこととしています。

事業名	現在	整備目標
児童養育施設整備	103	180
児童発達支援事業	39	200
一時保育事業	6	60
多機能化保育所整備	4	20
低年齢児童保育推進	12,536人	14,000人
乳幼児健康支援サービス事業	1	10
地域子育て支援センター	11	50

「くまもと子どもプラン21」の5つの柱と主な内容



今後、県では、「くまもと子どもプラン21」に沿って、さまざまな面から子育てを応援したいと考えています。しかし、目標を実現するためには、県民の皆さんや民間団体、市町村などの連携が必要です。子どもが健やかにたくましく育ち、安心して子どもを生み育てることができる熊本づくりへ向け、県民みんなで取り組みましょう。



いこいの場の整備・図書館ネットワークの利用促進など。

知事室から



熊本県知事 福島 譲二

残暑が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。早いもので、男子世界ハンドボール選手権大会が大盛況のうちに幕を閉じて三カ月が過ぎました。スポーツの素晴らしさを通して、大きな感動と国際交流の輪が広がったことは、本県にとって大きな収穫でした。また、多くの県民やボランティアに支えられたことで、新たなエネルギーが熊本に生み出されたのではないかと感じています。

先般、新聞やテレビで紹介されたとおり、水俣湾の仕切網を撤去することになりました。これまでの調査によつて、水俣湾の海がかつてのきれいな海を取り戻したことが改めて確認され、その魚介類の安全性を自信をもって宣言できる状況になったことを大変嬉しく思っています。今後の水俣・芦北地域の再生と飛躍の契機になるものと期待しています。

ところで、本県は、将来とも地域経済の活力を維持・発展させていくため、新幹線や道路、下水道等の社会資本の整備に積極的に取り組んでいます。しかし、国の財政構造改革が進む中、中央における論調には、「地方の公共投資の多くは無駄である」という意見が目につきます。このような意見は、基本的な社会資本の整備すら十分でない地方の実情を無視したものであり、とまどいを通り越して憤りすら覚えています。これまでも政府や中央のマスコミなどに対して公共投資の必要性を訴えてきましたが、今後あらゆる機会を捉えて「地方の声」を届けていきたいと考えています。県民の皆様のご理解と御支援をお願いします。

また、旅費の執行について、一部に事務執行上不適切な取り扱いがあるとして、先般、御指摘や御批判をいただきました。県民の皆様は深くお詫びを申し上げます。すみやかに旅費制度の見直しを行うなど、今後とも県民の皆様から批判や誤解を受けることのないよう、公費支出全般について厳正な執行に努めてまいります。

これから夏の疲れが出てくる時期です。くれぐれも「留意され、元氣にお過ごしください。」



「躍動するくまもと」を築いていくうえで、広域・高速交通ネットワークの整備は重要なテーマです。県では、九州における熊本の拠点性を高めると同時に、県内各地域の均衡ある発展を目指し、交通

基礎の整備を進めています。人、もの、情報がいきいきと交流する熊本へ。今回の特集1では、広域・高速交通基盤の整備状況や今後の取り組みの概要について、お伝えします。

道路

●九州の縦軸となる九州縦貫自動車道は、現在八代〜人吉間の四車線化や益城熊本空港インターチェンジの整備が進められています。また、南九州西回り自動車道（八代市〜鹿児島市。所要時間約二百四十分を約九十分）も、今年度中に八代ジャンクションから八代南インターまでの約六・六キロメートルが供用開始される予定です。

●横軸となる幹線道路のうち、九州横断自動車道延岡線（御船町〜延岡市。約百七十分を約七十分）は、昨年末御船〜矢部間が整備計画区間に格上げされ、実現に向けて大きく前進しました。また、中九州横断道路（熊本市〜大分市。約百七十分を約九十分）についても、現在調査を進めています。熊本天草幹線道路（熊本市〜本渡市。約百五十分を約

六十分）は、松島道路の工事に着手しています。

整備を目指して、取り組みを進めています。

空港

●熊本空港については、ILSカテゴリーIIIという最新鋭の機器を導入し、霧による欠航は激減しています。また、七月から東京便は増便されており、今後新規路線の開拓など、利便性の向上を図ります。また、県内では天草空港の建設を進めています。

●九州国際空港については、九州地方知事会、九州・山口経済連合会会長が、去る三月、関係県への十分な説明のないまま唐突に福岡県の「新宮・津屋崎沖」を最優先の候補地とする意見を運輸大臣に提出しましたが、本県としてはこれをもって九州地方知事会の意見とは認められない旨の抗議文を両会長に提出しました。九州国際空港問題は、既に第七次空港整備五箇年計画で、候補地問題も

含めて国の調査・検討の段階に進んでおり、今後とも本県独自の立場から、国に対して「大牟田・荒尾沖」が最適な候補地である旨を訴えていきます。

九州新幹線鹿児島ルート

●昨年末、未着工区間であった博多〜新八代間のうち船小屋〜新八代間が、将来フル規格の新幹線の走行が可能となる「特急方式」で新規着工区間として認められ、新玉名駅が計画駅として追加されました。今後、政府・与党整備新幹線検討委員会において新規着工区間の着工順位が決定される予定です。一日も早い全線

「県民みんなの夢をかたちに」。県民の皆さまの「理解とご支援をお願いします。」



●熊本港や八代港に海上輸送の主役であるコンテナ船就航のための施設を進めていきます。

港湾

の整備を図る等物流機能をさらに充実させるとともに、引き続き三角港や水俣港などの近代化のための整備を進めていきます。